

平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日－平成 30 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 64 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

- 会 期 : 平成 29 年 5 月 25 日 (木) ～27 日 (土)
会 場 : ビッグパレットふくしま
会 長 : 大和田一雄 (一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構)
参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、
会員に希望配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成 29 年 4 月 1 日	66	2	
平成 29 年 5 月 1 日	66	サブプレメント号 (電子配信)	
平成 29 年 7 月 1 日	66	3	
平成 29 年 10 月 1 日	66	4	
平成 30 年 1 月 1 日	67	1	

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 平成 29 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (2 名)

- 鈴木 照雄 会員 (ハムリー株式会社)
米川 博通 会員 (東京都医学総合研究所)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

- 佐々木 えりか 会員 (公益財団法人実験動物中央研究所)
「コモンマーモセットの遺伝子改変モデル作製技術確立とモデルとしての有用性の拡大」

3) 奨励賞 (2 名)

- 長谷川 賀一 会員 (筑波大学生命科学動物資源センター)
「cre-loxP 遺伝子組換えレポーターマウスとドライバーマウスの開発」

藤原 祥高 会員（大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター）

「遺伝子改変技術を用いた雄性不妊モデルマウスの開発と機能解析」

4) 2016 年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1 編）

西谷あい、田中美有、清水佐紀、國澤直史、横江繭子、吉田裕作、鈴木登志郎、
佐久間哲史、山本 卓、桑村 充、竹中重雄、大野行弘、庫本高志

Involvement of aspartoacylase in tremor expression in rats.

「アスパルトアシラーゼ遺伝子は本態性振戦の発症に関与する」

(2) 2016 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2016 年受賞者（4 名）

フィリピン：Jennifer L. Lucero

シンガポール：Muhammad Ibrahim Bin Mazlan

スリランカ：Wasala Mudiyanseelage Kalpani Madhushika Ratnayake

タイ：Jarinthron Teerapornpuntakit

(3) 平成 30 年度日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2017 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2017 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(6) 第 67 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 役員（平成 30～31 年度在任）の改選に関わる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会および必要なワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規程等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会

- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VII. 動物実験に関する外部検証

国立大学法人動物実験施設協議会および公私立大学実験動物施設協議会より移管された「動物実験に関する外部検証事業」を実施する。

VIII. 外部検証のための人材育成

ナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証促進のための人材育成」課題を推進する。

IX. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センター(JaCVAM)の活動に協力する。

X. その他

- (1) 第 64 回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する。(学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会)
- (2) 平成 29 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会)
- (3) 第 6 回実験動物科学シンポジウムを開催する。(学術集会委員会)
- (4) 実験動物管理者等研修会を実施する。(実験動物管理者研修制度委員会)
- (5) 外部検証専門員研修会を実施する (人材育成委員会)
- (6) 動物実験の外部検証の実施準備に向けた説明会を開催する (人材育成委員会)